

## 社会科（公民的分野）学習構想案

期 日 令和3年11月26日（金）第5校時  
場 所 上天草市立大矢野中学校 体育館  
学 級 大矢野中学校 3年3組 34名  
指導者 大矢野中学校 教諭 平本 康弘

### 1 単元構想

<b>単元名</b>	第4章 2節「生産と労働」（東京書籍 P.140～149）		
<b>単元の目標</b>	<p>(1) 現代の生産や金融などの仕組みや働きを理解し、勤労の権利と義務、労働組合の意義及び労働基準法の精神について理解できる。</p> <p>(2) 対立と合意、効率と公正、分業と交換、希少性などに着目して、個人や企業の経済活動における役割と責任、社会生活における職業の意義と役割及び雇用と労働条件の改善について多面的・多角的に考察し、表現できる。</p> <p>(3) どのような企業があるか理解し、企業の社会的責任や労働者の権利について、主体的に社会に関わることができる。</p>		
<b>単元終了時に期待する生徒の姿</b>			
これからの社会の課題を見つめ、どのような企業が求められるてくるか「起業家」「投資家」「労働者」の視点から考えることができる生徒。			
指導計画と評価計画（9時間取扱い 本時6／9）			
<b>過程</b>	<b>時間</b>	<b>主に働かせたい見方・考え方と問い</b>	<b>身につけさせたい力</b> (知・技 / 思・判・表 / 態)
課題把握	1	<p>【分業と交換】</p> <p>企業はどのようにして商品を生産しているのだろうか。</p>	企業の商品生産について、分業と交換の視点から説明できる。(思・判・表)
	単元を貫く課題： これからの社会で企業に求められるものは何だろう。		
課題追究	2	<p>【分業と交換】</p> <p>企業はどのようにして資本を手に入れているだろうか。</p>	・金融とは何かを知り、直接金融や間接金融の違いについて理解している。(知・技)
	3	<p>【希少性】</p> <p>企業にはどのような企業があるだろうか。</p>	・どのような企業があるか理解し、企業の社会的責任について、主体的に学習に取り組んでいる。(態)
	4	<p>【効率と公正】</p> <p>株式会社はどのような仕組みになっているのだろうか。</p>	・株主の権利や責任について、配当や投資と関連付けて理解し、株価がなぜ変動するのか理解している。(知・技)
	5	<p>【希少性】</p> <p>企業の特徴から、株価が上がりそうな企業に投資しよう。</p>	・企業の特徴を分析し、コロナ禍の世界情勢でも株価が上昇している企業を選択し、選択した理由を説明できる。(思・判・表)
	6	<p>【希少性】</p> <p>10年後、投資家が投資したい企業とはどのような企業だろう。</p>	・株価が上がった企業の特徴を分析し、投資家が投資したい企業について、自分の言葉で表現できる。(思・判・表)
	7	<p>【対立と合意】</p> <p>私たちは労働者として、企業に対してどのような権利を持っているだろうか。</p>	・労働者の権利について、具体例を参考にしながら、主体的に学習に取り組んでいる。(態)
	8	<p>【効率と公正】</p> <p>どのようにすればすべての労働者が生き生きと働ける環境が実現するだろう。</p>	・労働環境の課題について考察し、労働面での持続可能な社会の実現に向けて考察し、表現している。(思・判・表)
課題解決	9	<p>【希少性】</p> <p>これからの社会で企業に求められるものは何だろう。</p>	・「起業家」「投資家」「労働者」の視点から社会で企業に求められるものについて表現できる。(思・判・表)

## 2 本実践のねらいと生徒の実態

本実践（単元）のねらい					
<p>本単元は、学習指導要領の公民的分野の内容の「B 私たちと経済」の「（１）市場の働きと経済」にあたる。この中項目は、現代の生産や金融などの仕組みや働きなどを理解できるようにするとともに、個人や企業の経済活動における役割と責任、社会生活における職業の意義と役割及び雇用と労働条件の改善について多面的・多角的に考察し、表現する力を育成することを主なねらいとしている。また、これからの社会を生きていく中学生にとって、マネー教育はなくてはならない分野になると考える。自分たちがどのようにして資産形成をしていくか、またその際のリスクなどについて考えさせることで、自分の将来につながることを意識した単元構成としたい。</p> <p>本実践においては、株式投資を行うことで、利潤を獲得し、資産形成につながる反面、投資には多くのリスクがあることを考えさせたい。そのために、株式投資を疑似体験させることで、投資で大切にすべきことや投資の本来の意義、企業の社会的責任についても考えさせていきたい。そのことによって、社会的な事象を深く考え、よりよい社会の形成に参画する資質や能力を育成するという教科のねらいに迫りたい。</p>					
本単元における系統					
生徒の実態（単元の目標につながる学びの実態）					
■本単元を学習する以前の内容理解				(単位：30人)	
調査内容		よく	まあまあ	あまり	ない
①企業とは何か知っていますか。		1	12	10	7
②起業とは何か知っていますか。		0	10	12	8
③株式会社を知っていますか。		0	7	11	12
④金融とは何か知っていますか。		0	6	17	7
■本単元の学習に関する意識の状況				(単位：人)	
調査内容					
株式会社(会社・企業)は何のために運営しているでしょう。	・儲けるため。(12) ・みんなのため。(6) ・分からない、無回答(6)				
いい会社とはどのような会社ですか。	・みんなの生活が良くなるようにするため。(4)				
	・商品売るため(1) ・仕事の効率を良くするため(1)				
	・社員が過ごしやすい(8) ・みんなが優しい会社(7)				
	・休みがきちんととれる(6) ・みんなが頑張っている会社(3)				
	・みんなのために働いている(2) ・安定した給料がある(2)				
	・辞めたいと思わない会社(1) ・ゴミがない会社(1)				
■考察					
○基本的な語句を理解していない生徒が多く、企業についての興味関心は高くはない実態がある。					
○基本事項の習得を中心に、学習を進めていく必要がある。					
○お金や労働についての関心は高いので、投資家や労働者としての自分たちを想像させながら、授業展開させることで全員が参加できる授業になっていくのではないかと考える。					

## 3 指導に当たっての留意点

- 基礎基本の定着を図りながら、既習事項の復習を通して、自分たちの学びを実感できる単元構想をしていく。生徒たちにとって身近な企業や投資の話、労働者の権利など、将来の自分たちを想像させながら、全員が授業に参加し、取り組みしやすい工夫をしながら、多くの考えが出せる場を設定することで、企業について理解を深めていきたい。また、単元シートを用いることで、振り返りの時間を十分にとって、学習の成果を高めていきたい。

#### 4 本時の学習

(1) 目標 株式売買の体験を通じて投資への理解を深め、株価が上がっている企業の特徴を分析し、これからの投資家が投資したい企業について、自分の言葉で表現できる。

#### (2) 展開

過程	時間	学習活動 (◇予想される生徒の発言)	指導上の留意事項
導入	3分	1 前時の内容を振り返る。 ◇私たちの班が投資した先は下落してしまった。 ◇投資先の株価はかなり上がった。 ◇O社やT社の株が上がったのも納得できた。	○本時の内容に入りやすいように、前時の内容の生徒が書いた振り返りを紹介する。
		<b>【学習課題】 10年後、投資家が投資したい企業とはどのような企業だろう。</b>	
展開	35分	2 株価が上がっている企業を参考に、どのような企業に投資家は投資するか考える。 ◇技術革新を行っている企業。 ◇社会貢献をしている企業。 ◇投資家が好きな企業。	○投資家の人たちの心情になったつもりで考えさせる。 ○現在の投資の傾向が分かる資料を配付し、個人で投資の傾向を考えさせる。
		3 班で意見を交流させる。 ◇これからの時代を見据えた技術を開発している企業。 ◇投資家が応援している企業。  4 班で出た意見を発表させる。 ◇利益を上げていそうな企業。 ◇技術革新を常に行っている企業。 ◇お客さんをいつも満足させている企業。 ◇持続可能な社会を作っていきたい企業。	○班の司会を中心に意見交流をさせる。活発な意見交流になるように、班の役割をあらかじめ決めておく。  ○ホワイトボードを利用して、班で出た意見をまとめさせる。
終末	12分	5 GTの話(録画)を聞き、投資家がどのような考えで投資をしているのかを聞く。 ◇投資する際の視点が分かった。  6 本時のまとめ、振り返りを行う。 ◇社会の課題を解消するために、活動している企業が求められていることが分かった。	○専門家の視点から投資家の考えを伝え、これからの投資の在り方や企業の在り方について考えを深める。  ○振り返り用紙に本時のまとめを書かせる。 ○机間巡視しながら、指名発表させる ○最後に次時に繋がる話をする。

#### (3) 本時の評価

評価の観点	評価基準(予想される生徒の発言・記述)
思考・判断・表現	A: 株価が上がっている企業の特徴を分析し、これから投資家が投資したい企業の特徴を、ESG投資や「企業の社会的責任」、持続可能性という側面を踏まえて、自分の言葉で表現できる。
	B: 株価が上がっている企業の特徴を分析し、これから投資家が投資したい企業の特徴を、自分の言葉で表現できる。